9/26 プロへの登竜門 3人が受賞



全国29都道府県103人から104点の作品が寄せられた第32回酒田市土門拳文化賞授賞式が開催されました。土門拳文化賞は、ドキュメンタリー写真の賞として高く評価され、プロへの登竜門といわれています。この度奨励賞を受賞した3人には、市長から賞状と賞牌(しょうはい)が授与されました。

9/27 多様な国の人々と、交流を通して見聞を広げる



国際交流まつりin中町2026が交流ひろばで開催されました。会場では、外国の料理の紹介と販売、民族衣装の試着などが行われ、ステージでは各国の音楽や踊りが披露されました。さまざまな国の文化に触れ、子どもから大人まで多くの参加者でにぎわいました。

9/30 定期船「とびしま」復活！



3月26日に発生したエンジン故障により代船運航していた定期船とびしまの運航が再開しました。約6か月ぶりに出航する姿を一目見ようと駆け付ける方もいました。久しぶりの出航を見送った矢口市長も、乗客に大きく手を振っていました。

10/9 酒田のラーメン、おいしいね！



令和5年10月9日に酒田のラーメンがご当地ラーメン総選挙で日本一になったことにちなんで、本市小学校でラーメン給食が提供されました。酒田のラーメンを考える会の協力で提供されたラーメンを、児童は口いっぱいに頬張り、満面の笑顔で味わっていました。

10/18 秋の風物詩 芋煮会で移住者が交流



庄内で暮らそう！移住者交流会が主催する芋煮会が最上川河川敷で開催され、移住者や移住希望者など45人が秋晴れの空の下、芋煮を楽しみました。参加者は庄内と内陸の2種類の芋煮を協力しながら作った後、出来上がった熱々の芋煮を食べて親睦を深めました。

10/18 丸ごと味わって丸ごとはっぴー



八幡・平田地域の食、文化、風土を丸ごと味わえるイベント八平(はっぴー)まつりが八幡タウンセンター前駐車場などで開催されました。来場者は両地域の特産品や各店舗自慢の味を堪能したり、同時開催のやわた文化祭、庄内森とみどりのフェスティバルなどを楽しんだりと、大いににぎわいました。

ZOOM UP ズームアップ酒田

あの日あの時の気になるニュースや、
明るい話題を振り返ります。

9/19～20 新しいお気に入りを見つけられたかな



まつやま大手門くらふとフェアが松山歴史公園で行われました。参加店舗が昨年より20店舗以上増え、エリアも広がり多くの来場者でにぎわいました。会場には作り手のこだわりが詰まったクラフト作品や食べ物が並び、来場者は思い思いにイベントを楽しんでいました。

9/24 「燃える大地」文化資料館へ



市の配慮不足から廃棄処分してしまった小野寺庸介氏作の絵画「燃える大地」について、作者本人が色補正などの作業を行った複製品の完成報告会が開催されました。今後は、酒田市大火の記憶と教訓を後世に伝える資料として、文化資料館光丘文庫で展示します。

9/27、10/4 50年前のあの日に思いを寄せて、まちを歩く



酒田市大火50年事業の一環として酒田市大火の現地を巡るフィールドワークが行われ、両日で計27人が参加しました。参加者は、実際に大火の被害を受けた場所を自らの足で踏みしめながら、災害について深く考えていました。

9/27 北の若関、十両優勝おめでとう！



大相撲秋場所にて、本市出身の北の若関が十両優勝決定巴戦を制して初の十両優勝を成し遂げました。優勝インタビューでは、8月の大相撲酒田場所（夏巡業）での皆さまからの熱い歓声や、郷土酒田からの温かい応援が大きな力になったと語りました。

10/9 「わが手に託されたる人々の幸のために」



酒田看護専門学校宣誓式が行われました。この式は本格的な実習を目前に看護の世界で学んでいくための決意とこれまでの感謝を伝えるために行われるもので、学生たちは今までの学びを踏まえながら、一人前の看護師になるべくそれぞれ誓いを立てていました。

10/10 笑顔あふれる秋の収穫体験！



友好都市である東京都北区の親子10組が、酒田市自然農村交流体験事業で本市を訪れました。平田地域の田んぼで、市内農家の丁寧な指導を受けながら稲刈りを体験。夜は力を合わせてついたお餅を頬張り、普段の生活では味わえない温かな田舎体験を楽しみました。